

気象庁のロゴマーク等の決定について

気象庁は昨年創立125周年を迎え、また21世紀を迎えた今年1月6日からの中央省庁の再編に伴い、国土交通省の外局として発足したことを契機に気象庁新世紀記念事業を実施しています。この事業では気象知識の普及等により国民各位が防災気象情報を有効に活用していただくとともに気象業務に対する理解も深めていただけるような各種の取り組みを行っております。

この事業の一環として、気象庁のロゴマーク及びキャッチコピーの選考を進めてきましたが、このほど最終選考が終わりましたのでその結果を別紙のとおり発表します。

これらのロゴマークあるいはキャッチコピーは、気象庁が発行するパンフレット、ポスター、封筒等の印刷物、各種の行事等で利用することとします。

1 ロゴマーク



【ロゴマークの説明】

中心の球は大気圏に包まれる地球を表し、表面に地球を周回する大気の流れを描いています。全体としては芽吹き、海の波など地球が抱える自然現象をも表現するものとしています。

さらに、このロゴマークには気象庁の英語名である「Japan Meteorological Agency」の頭文字「J」「M」「A(a)」を模様の中にあしらっており、ロゴマーク右側の三日月状の模様と中心球で「J」と「a(A)」を、中心球が表す地球の表面上の波動で「M」を表現しています。

このロゴマークの実際の使用にあたっては、「気象庁」あるいは「Japan Meteorological Agency」と併せて使用する場合もあります。

2 キャッチコピー

「守ります 人と自然とこの地球」

【キャッチコピーの説明】

このキャッチコピーは平成10年度の気象記念日に際し、気象庁内から応募し、採用した標語です。気象業務が目指している、自然災害から国民の生命と財産を守る役割、すなわち自然の変化を常に監視し、自然災害の発生・拡大を未然に防ぐ役割を担う気象業務の重要性を言いあらわしていることから、この標語を採用しました。